

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 学校経営能力	子供理解 組織管理運営能力	学校を支える力 外部連携能力	教育への情熱 人材育成能力	たくましく 豊かな人間性

希望 研修 選択研修等 初任研3年目 中堅研 中堅実助 中堅養教 免外

研修会 番号	D0800	共に学ぶ教育研修会 ～インクルーシブ教育と交流及び共同学習～	申込必要
			[定員 50名]

目的・ねらい	インクルーシブ教育に対する理解を深め、交流及び共同学習の実際を学ぶことにより、自校での実践をよりよいものにする。研究協議を通して、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒とが共に学ぶ教育活動を計画、実践する力を育成する。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大専科・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

10月17日(木)	講義	インクルーシブ教育システムの構築に向けて 講師：教育庁特別支援教育課 指導主事
	実践発表	学びの多様性を活かした教育プログラムの開発について(仮) 講師：県内の高等学校教員等
	研究協議	交流及び共同学習の在り方について 講師：県内の各校種の交流及び共同学習担当者等 4名
会場： 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	特になし	

【PR・連絡等】

午前の講義では、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、その理念や実際の取組について学びます。午後の研究協議では、前半に交流及び共同学習の実践校による話題提供を受け、後半に障害のある子にとっても、障害のない子にとっても学びの多い交流及び共同学習の在り方や共に学ぶ仕組みについて考えます。

通常の学級の先生方にもお勧めします。インクルーシブ教育と交流及び共同学習の意義と好事例を学ぶことで、学校全体での特別支援教育の推進、取組に活用することができます。